

ぼくらのタカマタギ、キセキの日になりました

日程:2023/3/21

形態:雪山歩き

人数:4名 (A原、S順、N野、k林)

ルート:毛渡橋付近 尾根取り付き 棒立山 タカマタギ

雪の季節はほとんど山スキーの私だが、それでもシーズンに1回は雪のお山を歩きたい。

移動性高気圧で安定の晴れを期待して日帰りでタカマタギを計画した。

kんちゃんとじゅん2とNさんがエントリーしてくれた。

このあたりのお山のときは湯沢ICをおりた某所が仮眠の定宿だけど、最近はいいいウワサを聞かないので、違うところにテントを張った。

ささやかな入山儀式をしたあと眠りについたが、じゅん2はトラックの音がうるさくて眠れなかったとのこと。

3/21 近くのセブンで朝食を摂る。このセブンは若いスキーヤー向けだろうか、おにぎりはデカサイズ、サンドイッチや揚げ物のラインナップも豊富だ。

新幹線でくるkんちゃんを越後湯沢駅でピックアップ後、登山口へ。すでに5台ほどの車あり。

7:47 スタート。取り付きの尾根まではうっそうとした杉林に行くが、ここは春になるとコシアブラやコゴミが採れる。

8:15 尾根の末端は藪が出ていた。藪は送電線の近くまであって今年の寡雪を実感する。

先人のトレースがあったのでほぼ潜ることなくツボ足で歩けた。

9:23 棒立山からの支尾根にあがる。ここは谷川連峰が望める絶好の展望台になっている。対峙する足拍子岳や荒沢山は黒々としてなんかフツーのお山と化していたが、茂倉、万太郎、仙ノ倉、巻機などなどは白を纏って美しかった。

この展望台でこれが見たかったんよ。青空に白い峰みね、カーブを描く関越道と上越線。車の音も聞こえてきて、低山ならではのジオラマだ。

WBCのメキシコ戦が気になってスマホを見ると7回裏で0-3で負けていて、終わったな、とスマホを閉じた。(が、その後同点になったのね)

ここから棒立山までは急斜面になるが階段のようなステップが切られなんの苦労もなく順調に標高をあげ、

10:30 棒立山とうちゃこ。

タカマタギの雄姿とここでご対面になるのだが、面にはニコちゃんマークの顔文字のようなクラックが入っていてちょっとマヌケ顔のタカマタギ。





棒立山からいったん下降しタカマタギへのプロムナード。景色がよくてキョロキョロが止まらない。タカマタギの直下の急斜面にはところどころ深いシュルンドがあって、墮ちないように跨いだり迂回したり。

11:12 タカマタギ到着。まんまるの山頂には先行者が1名いた。

どっからきたんですか？ と聞かれ、あっちから、と答えると、そんなルートがあるんですか？！と驚かれた。タカマタギといえば土樽からが定番だと思っていたが、いまは二居からアプローチするのがスタンダードなようだ。

Nさんが荷揚げしたノンアルで乾杯。うまし！風もなくあたたかな頂きで山座同定したりごはん食べたりまったり過ごす。どこからかラーメンのかほりがした。ほんと、今日は山頂ラーメンびよりだ。

下山は往路をたどるのみ。急斜面では腰が引けてみんなから遅れをとる。

棒立山で単独者とすれ違い、さらにその下で3人パーティと会う。このルートはほんと人が少ない。グサグサになった雪を蹴散らしたりつまづきながら歩く。

12:55 展望台でひと休み。kんちゃんがスマホをみて「なに～！！！」と雄叫びをあげた。

ど、どした？

ニッポンが勝った～！！！！劇的サヨナラ勝ちだ～！！

まじ～～！！！！

誰が打ったの？村神様？オータニは？侍ジャパンすごい。キセキだね。(でもキセキは翌日も続く！)

山、登ってる場合じゃないね。

今日のタカマタギ、ちょっと忘れられない。

午後の刺すような陽ざしを浴びて尾根の末端に降りて、クルマには13:50に着いた。

お風呂は岩の湯。kんちゃんを越後湯沢駅に送り届け、人参亭のとんかつ定食で打ち上げをし、渋滞の関越の人となった。

みなさん、ありがとうございました。また遊んでください。

おしまい

コースタイム

3/21

車止め 7:47—尾根取りつき 8:15—展望台 9:23—棒立山 10:30—タカマタギ 11:12～11:40—棒立山 12:10—展望台 12:55—車止め 13:50

ワカン、アイゼンは使いませんでした。

記:A原